

橋「ハートの日」 豊「ハートの日」

心臓病予防テーマに催し多彩

徳光さん自らの体験を語る

増え続ける心臓病に歯止めをかけようという「ハートの日」イベントが10日、ホテル日航豊橋で盛大に開かれ、大勢の人が集まりにぎわった。

同市内の心臓専門病院、豊橋ハートセンター主催、日本心臓財団など共催、県豊橋赤十字血液センター、東愛知新聞社など後援、豊橋市消防本部などが協

力した。

今年で11回目を迎えるもので、「心臓病を予防しよう」のテーマで終日、多彩なイベントが展開された。午前中の無料ハート健診には、開会前から行列ができてスタッフたちも大忙し。

また心臓病や歯周病相談の健康コーナー、AEDの使い方や救急蘇生(そせい)法講習会、管理栄養士による食事・栄養相談、献血などにも多数の人が参加した。

自らの心臓病体験を語る徳光さん
―ホテル日航豊橋で



く澄んだ歌声で童謡や唱歌など熱唱。皆の心を癒やしていた。

午後からのハート講演会は、「路面電車の

走る街・豊橋」テーマで、とよはし市電を愛する会会長・伊奈彦定さんが市電の魅力を紹介した。第2部は「心臓病ってどんな病気」で、フリーアナウンサー・徳光和夫さんが、心筋梗塞(こうそく)の体験談を語り、日々の食事や規則正しい生活の重要性に加え、定期検診の大切さも強調した。

続いて中村正人・東邦大学循環器内科教授が狭心症、心筋梗塞のミニレクチャーを。パワーポイントでお年寄りにも分かりやすく話した。最後の座談会では、徳光さん、宗田理さん、作家、豊橋ふるさと大使、中村教授に、主催者の鈴木孝彦院長と大川育秀副院長が参加。

宗田さんも数年前、心臓病を発症。鈴木院長に助けられた患者の1人で、徳光さんと共に患者の立場で専門医と向き合い、ざっくばらんに話した。

このほか、各種健康食品や関連書籍の展示、即売も行われた。なお、この日は同病院が運営する名古屋と、岐阜の両ハートセンターでも関連イベントを行った。(星野のリリ)



AEDの使い方を覚える救急蘇生法講習会

協賛：
浜田市消防本部
豊城市消防本部
田原市消防本部
豊川市消防本部
豊橋市消防本部